備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成19年度事業）

施策名（小項目）	地域防犯	コード	作成者	役職	市民課長
		01-04-03		氏名	野上　茂之
				電話	６４－１８１８

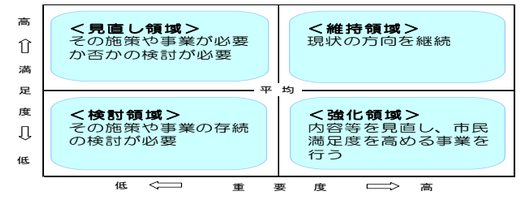
備前市総合計画の内容から記載する

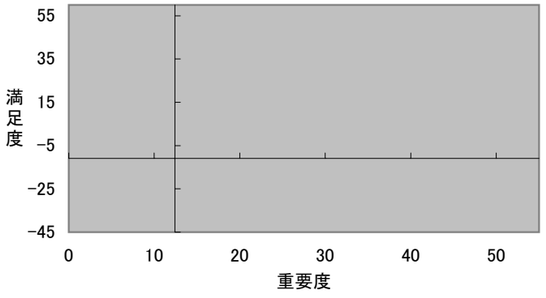
政策の体系		
	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目（基本施策）	安全で安心して暮らせるまちづくり

① 施策の対象と目的 （誰のために、何のために）	市民が安全で安心して暮らせるよう、地域での犯罪抑止機能の向上を図る。
② 現況と課題 （総合計画から現在の問題点を抽出）	近年の犯罪は、空き巣、たかり、ひったくり犯罪のほか、高齢者を対象とした振り込め詐欺、児童・生徒に対する声かけ事案や残虐な殺傷事件などが多発するなど、だれもが被害者となる可能性があります。 また、市民同士のつながりが希薄化し、犯罪を未然に防ぐ抑止力が低下しているといわれる中、かつての安全神話も崩れつつあります。幸いにも本市の犯罪件数は減少傾向にありますが、市民一人ひとりが、「自らの安全は自ら守る」という基本に立ち、地域での安全活動の重要性と必要性を強く認識し、犯罪の発生を未然に防止するため、警察や防犯連合会など、関係機関と地域が連携して防犯体制を強化することが必要です。
③ 施策展開 （総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	・ 防犯意識の高揚 ・ 安全・安心な環境の整備 ・ 地域との協働 ・ 情報の提供 ・ ・ ・

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度（%）			
満足度（%）			





調査結果に対するコメント、市民の反応等 （調査対象でない施策の場合は、市民の反応等）	様々な犯罪が連日のように報道されており、市民の関心度は非常に高まっています。市としては、警察や地域防犯活動団体等と連携を密にし、安全安心な地域を目指した施策を展開する必要がある。

⑤ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名		単位	過年度実績 H17	過年度実績 H18	評価年度 H19	目標値 H20	目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	全刑法犯認知件数	目標 件	400	400	400	400	400	400		資料（県警発行のセイフティーアップ岡山）（100以下で達成）
		実績 件	466	504	449					
		達成率 %	116.5	126.0	112.3					
2	治安が悪くなってきていると感じている市民の割合	目標 %	30	30	30	41.7	50	50		市民意識調査（100以下で達成）
		実績 %	39	39.4	39.5					
		達成率 %	130.0	131.3	131.7					
3	防犯灯設置申請による対応率	目標 %	100	100	100	100	100	100		申請件数／補助交付件数
		実績 %	100	100	100					
		達成率 %	100.0	100.0	100.0					
4		目標 団体								
		実績 団体								
		達成率 %								

⑥ 施策構成事務事業の評価

所　属　長　評　価

施策を構成する事務事業		事務事業評価結果 A～E（高～低）	細事業	事業分類	事業費等（単位：千円，人） H17 直接事業費	H17 人件費	H17 人工数	H18 直接事業費	H18 人件費	H18 人工数	H19 直接事業費	H19 人件費	H19 人工数	施策への貢献度 ☆☆☆ ☆☆ ☆	予算の重要性 $$$ $$ $	H20 当初予算 直接事業費
1	防犯活動啓発事業	B	防犯啓発活動事業	その他単市	0			42			82	2,879	0.31	☆	$	49
			防犯パトロール事業	その他単市	0	1,003	0.12	65	3,488	0.37	20	682	0.08	☆☆	$	0
			情報提供事務	その他単市	0			0			0	97	0.01	☆☆	$	0
2	防犯施設整備事業	B	防犯灯管理事業	施設維持管理	2,647	1,518	0.12	2,492	1,477	0.18	1,864	1,287	0.17	☆☆☆	$$$	1,304
3	防犯活動支援事業	A	地区防犯活動団体支援事業	国県補助事業	69			0			1,850	3,854	0.38	☆☆	$$	400
			防犯灯設置補助金	単市補助給付	651	487	0.06	718	5,031	0.52	667	374	0.05	☆☆☆	$$$	300
			備前防犯連合会負担金	単市補助給付	1,939			1,876			1,882	7	0.00	☆☆☆	$$$	1,455
			市・和気郡国際化対策連絡会会費	単市補助給付	2			2			2	0	0.00	☆	$	2

この施策に費やした資源（単位：千円，人）	H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)
	5,308	3,008	0.30	5,195	9,996	1.07	6,367	9,180	1.00	**3,510**

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
警察	犯罪防止	犯罪を未然に防止するために地域住民への情報提供、活動支援
地域住民	防犯体制の強化	組織の確立、警察・市との連携、防犯パトロール等を地域で実施する自主活動

⑧ 施策の評価

項目	5：非常に高い　4：高い　3：どちらともいえない　2：低い　1：非常に低い 一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1 目的達成度（中･長期目標に対する）	3	全刑法犯認知件数が減少した。	3	全刑法犯認知件数の目標達成率が低い。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	3	妥当なものである。	3	安全、安心な環境整備は重要であり妥当である。
3 施策の有効性（評価年度の目標達成）	3	妥当な施策であり、継続して実施する。	3	防犯活動の推進が図られており有効な施策である。
担当への指示（今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等）	犯罪防止は警察の業務であるが、犯罪抑止は警察・市・地域が連携して防犯体制を強化することが重要であり、防犯意識の高揚を図るとともに地域防犯活動団体への積極的な支援が必要である。		犯罪の発生を未然に防止するため、警察等との情報交換により市民へ情報提供を的確に行なうこと。	
二次評価者コメント 役職　民生部長 氏名　鵜川　晃匠	市民が安全で安心して暮らせるよう、関係機関が連携して防犯体制を構築していかなければならない。そのためには、市民一人ひとりが声を掛け合いながら防犯意識を高め、地域活動の輪を拡げていく必要がある。		基本施策への貢献度	3中立